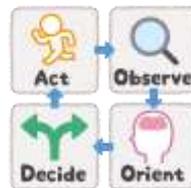


## 基本方針(全体)

- 【生徒の多様な活動や安全の確保】 【教職員の働き方改革】 【地域サポーター連携・地域資源の活用】を三本柱に段階的に地域展開を進める。
- 観察 → 状況判断 → 意思決定 → 実行【OODAループ】
- 学校・地域・家庭が連携し、持続可能な運営体制構築



別枠対応  
3rd  
↑

## 2025 (R7) 実証の実施・体制整備

- ①地域展開コーディネーターを2名配置し、各関係機関との連携・実証事業整備等を担う。現行の部活動体制は継続しつつ、拠点校方式につなぐ実証事業を各中学校区で実施する。
- ②『中学校部活動地域展開運営協議会』の設置に向けた準備会を以下の担当者で行い、同運営協議会を設置する。なお、同運営協議会の会長は野洲市長、副会長は野洲市教育長とする。さらに、指導員等の人材確保に関して早急な対応を検討していく。

野洲市教育長／学務課／文化スポーツ振興課  
中学校長代表（滋賀県中学校体育連盟野洲支部長）  
野洲市スポーツ協会代表

休日および平日の地域展開は、各活動の状況を考慮し、開始時期等を調整して、できる活動から促進する。ただし、本登録に関しては、部活動地域展開運営協議会発足後とする。

## フェーズ 1st 【 2026 (R8) ～2028 (R10) 】

休日中心の地域展開・平日運用のルール化

### 地域展開の推進 (休日中心)

- 指導員等を増員して拠点校方式での活動団体を増やす。
- 協会・地域団体等との共同運営を促進する。
- 学校部活動以外のスポーツ文化芸術活動への参加を支援する。
- 関係機関（文化スポーツ振興課・総合型地域スポーツクラブ等）と連携して受け皿の拡充を進める。

### 学校部活動の平日の運用

- 学校部活動の平日の活動日数について、最大で週3日間を基本とする。ただし、2025～2027年度に地域展開に関わる登録方法等が改訂される部活動については、弾力的に運用変更を行うことができる。
- フェーズ1stの期間をかけて、学校部活動の活動終了時間を16:45に設定することを目指す。

### 部活動地域展開運営協議会 (部運協) の運用

会長：市長 副会長：教育長  
会員：学務課・文化スポーツ振興課（総合型地域スポーツクラブ等との調整担当）  
中学校長代表（滋賀県中学校体育連盟野洲支部長）・スポーツ協会代表・他  
役割：方針決定／資源配分／安全管理基準の策定／受け皿の整備・評価



### スポーツ文化芸術活動サポーター『スポ文サポーター(仮)』

- 野洲市内で中学校の部活動と地域展開における活動の指導者や支援者・ボランティアを登録する体制を整備する。
- 各支援団体との連携を進める。
- 教職員からの参加を促し、指導者だけでなく支援者として、子どもたちを見守る体制を整える。

フェーズ1st の状況を見て、地域展開の進め方等については、部活動地域展開運営協議会で協議を重ねていく。